

ゴミの山から宝の山へ 地域産業の課題解決

栗殻の有効利用

岐阜県恵那市で「地域から信頼される学校文化の創造を目指して」をモットーに、活動を行う岐阜県立恵那農業高等学校。同校の位置する恵那市や中津川市周辺は多くの和菓子店があり、秋には有名な『栗きんとん』をはじめ、栗を使った和菓子が数多く製造されますが、同時に大量の栗殻が残ります。こうした栗殻を有効に活用し、環境負荷を減らすために平成 17 年度から4箇年にわたり取組を行いました。平成 19 年度は、地元堆肥製造会社と連携し、栗殻を有効活用するための栗殻堆肥の製造に成功しました。平成 20 年度は、栗殻堆肥を地域に普及させるために、「栗～んマルチ」と名づけ、無料配布を行いました。

この取組により、今まで廃棄されていた栗殻を有効活用でき、CO₂を年間で栗殻 50 トンあたり 170 トン削減することができました(平成 19 年度)。また、地域の和菓子屋、堆肥製造会社とも連携して研究を行っているため、栗殻を有効活用できるだけでなく、地域社会の活性化も期待できます。この活動に関わった生徒の人数は平成 20 年度4名でした。

約50tの栗殻！



【活動団体の紹介】

岐阜県立恵那農業高等学校

岐阜県恵那市大井町 2625-17

Tel: 0573-26-1251

Fax: 0573-26-1252

E-mail: c27358@gifu.net.ed.jp

WEB サイト: <http://www.school.gifu-net.ed.jp/ena-ahs/>

栗殻堆肥を栗殻でできている・マルチに利用してもらう。環境によいから「栗〜んマルチ」と命名



「栗〜んマルチ」を本校販売所で無料配布の様子



「栗〜んマルチ」を多くの団体の方が利用



「栗〜んマルチ」で交流 中津川市南小学校5年生総合学習の時間

